

人と技術をつなぎ、
もっとエネルギーの
ど真ん中へ。

経営ビジョン2035



西プラの歴史は、エネルギー産業の発展とともにありました。

ひたすらに技術を磨き、社会とお客さまへひた向きに寄り添った70年の歳月は、
明かりのある安心を隅々にまで届けることへと結実しています。

それは、九州をはじめとする日本全国のお客さまや、パートナー会社の方々と額に汗して築きあげた絆の歴史でもありました。
いま世界は脱炭素社会の実現に向けた構造転換の真っ只中。

西プラを取り巻く環境も目まぐるしく変化し、私たちにはさらなる進化が求められています。

これからの10年をいかにして切り拓くのか、

先人たちが築きあげた信頼をより確かなものとしながら、次代に向かって成長していくために、
私たちは、来るべき10年先の未来を見据え、「経営ビジョン2035」を策定しました。

これからも社会とお客さまと、「財」^{たから}である社員やパートナー会社とともに、力強く羽ばたける会社であるように、

『人と技術をつなぎ、もっとエネルギーのど真ん中へ。』

私たちは、このメッセージを合言葉に、新たな一步を踏み出します。

70年の歩みは、『人』と『技術』を大切に積み重ねてきた成長の軌跡。この歩みは、社会のため、お客さまのために築いてきたもの。技術も信頼も、人と人とのつながりの中で育まれてきました。そして、今、その想いは確かに私たちへと受け継がれています。

「九州火力建設株式会社」設立

戦後、急速に復興に向かう社会の中、電力は、すべての産業の基盤だった。
しかし当時、日本の火力発電技術は、世界から20年遅れていると言われていた。
技術も、資金も、何もかもが足りなかった時代。
「事業は人なり」という強い信念のもと、技術的にも、経営的にも、
信頼される会社を目指した。



九州火力建設労働組合結成

1960



九州電力㈱苅田発電所1号機建設工事完成

当社の原点はここにある。苅田発電所1号機建設工事。
ここから、全てが始まった。創立初期で、資金も、機材も、
足りなかった。だから、「人」が動いた。
機器搬入は、「コロ引き」と呼ばれる原始的な方法だった。
想像以上に苦しい作業だった。
しかし、これらの経験により、最新の火力発電技術を習得し、
西プラの今日の基礎を築くことができた。日本の火力発電
技術レベルを世界水準に向上させることに貢献した。

「西日本プラント工業株式会社」に社名変更

NPC安全衛生協会の発足



私たちの歩み全てにパートナー会社の皆さんが
いた。高め合い、認め合い、過酷な状況も、お客
さまの期待に応えるため、共に成し遂げてきた。
私たちだけでは、何一つ成し遂げられない。



教育憲章を制定

経営理念である社会奉仕、人間尊重の精神に則り、
人材育成についての基本方針を明確にした教育憲章を制定。

九州電力㈱川内原子力発電所1号機再稼働

東日本大震災から4年、日本初の原子力発電所の再稼働。
ゴールが見えない過酷な工事だった。
立ち返ったのは、「心の原点」。誰一人、諦めなかった。
お客さま、パートナー会社の皆さん、そして、私たち社員。
立場を超えて、向き合った。技術だけじゃない。
人を信じ、仲間を守り抜く力。これこそが、私たちの誇りだ。

NPCパートナー協会の発足

株式会社朋友を子会社化

下関バイオマス発電所完成 (初の大型EPC)



初めて挑んだ大型EPC。経験も前例もない中、
度重なる困難に直面し、仲間とともに、知恵を絞り、
支え合い、前を向いた。不安だった日々は、やがて
一人ひとりの成長に変わった。この挑戦は、設備
だけでなく、私たち自身をつくり上げた。

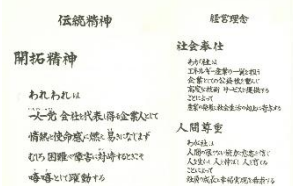
「社是」制定



創立当初から先輩方が語り合い、
励まし合ってきた職場の合言葉の集約。
これを将来へ受け継いでいく為に制定。
特に「誠実な施工」は今日の当社を象徴
する代表的な言葉。

グループ会社 「株式会社メンテック」設立

「社憲」「行動指針」制定



「心の原点」として、創立以来、息づいている創業精神。技術よりも先に、「人」が
あった。「人」は、環境によって育つ。そして、その環境を作るのもまた、人だ。
幸福や成長の限りない希求、自ら汗を流して努力することの尊さ、正しさに向かう
強い信念や、他人への思いやり。すべてが「人」に尽きるのだ。

グループ会社 「株式会社朋友」設立

グループ会社 「サンシン工業株式会社」設立

研修所新設

2010

2020

2025

事業環境は刻々と変化していますが、『人財が持つ力』を一層高め、変化を恐れず挑戦し続けることで、西プラが更に活躍できる可能性は大きく広がっています。

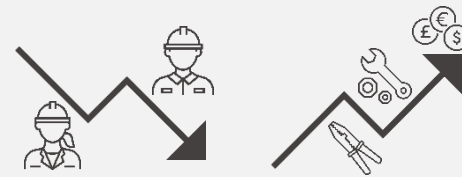
エネルギー業界の変化（GX）



- 再エネの主力電源化や原子力の最大限活用
- トランジション手段としてのLNG火力の確保
- DX進展に伴う電力需要の増加

西プラの技術で世の中に更に貢献できる。

建設業界の変化



- 少子高齢化に伴う労働人口の減少
- 建設業界の人手不足の深刻化
- 人件費や建設資材費の高騰

西プラの強みである人の力がより求められている。

環境変化をチャンスと捉え、
西プラの強みである人や技術を活かして成長していく
[人的資本経営を推進]

DXが企業の競争力を左右する世の中に。



- DXによる省人化、業務変革
- デジタル人財の需要拡大
- セキュリティリスクの増加

デジタル社会の進展（DX）

個が尊重される時代に。

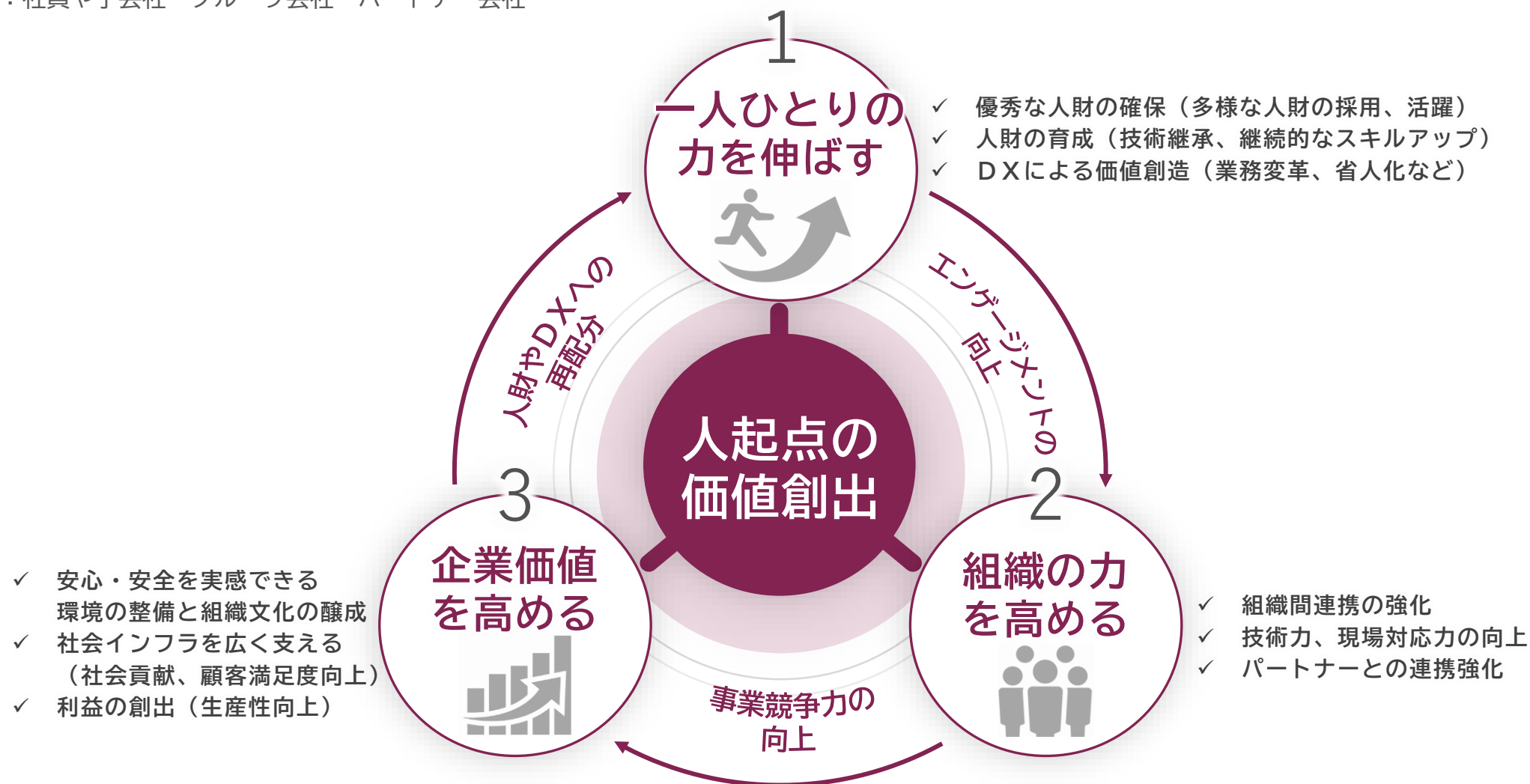


- 個の価値観や働き方が多様化
- 多様な人財の活躍
- 人的資本経営が注目

働く人の価値観の変化

人財^{注)}の力を高め合い、引き出すことで、企業価値を高め、エネルギー分野を中心に広く社会に貢献するとともに、持続的な成長を実現するため、**人的資本経営を推進**します。

注) 人財：社員や子会社・グループ会社・パートナー会社



社会、お客さま、人財からこれまで以上に信頼され、無くてはならない存在になるために、
『人』、『技術』、『エネルギー』をキーワードに成長していきます。

2035 ありたい姿

コアメッセージ

人と技術をつなぎ、
もっとエネルギーの
ど真ん中へ。

3つのサブメッセージ

ありたい姿を、より明確に示した
ステークホルダー毎のメッセージ

社 会

培ってきた技術、エネルギーを支えてきた誇り、
そして、一人ひとりの中にある
「もっと何かできるはず。」という思いをつなぎ、
九州を起点に**社会インフラの未来**を支える。

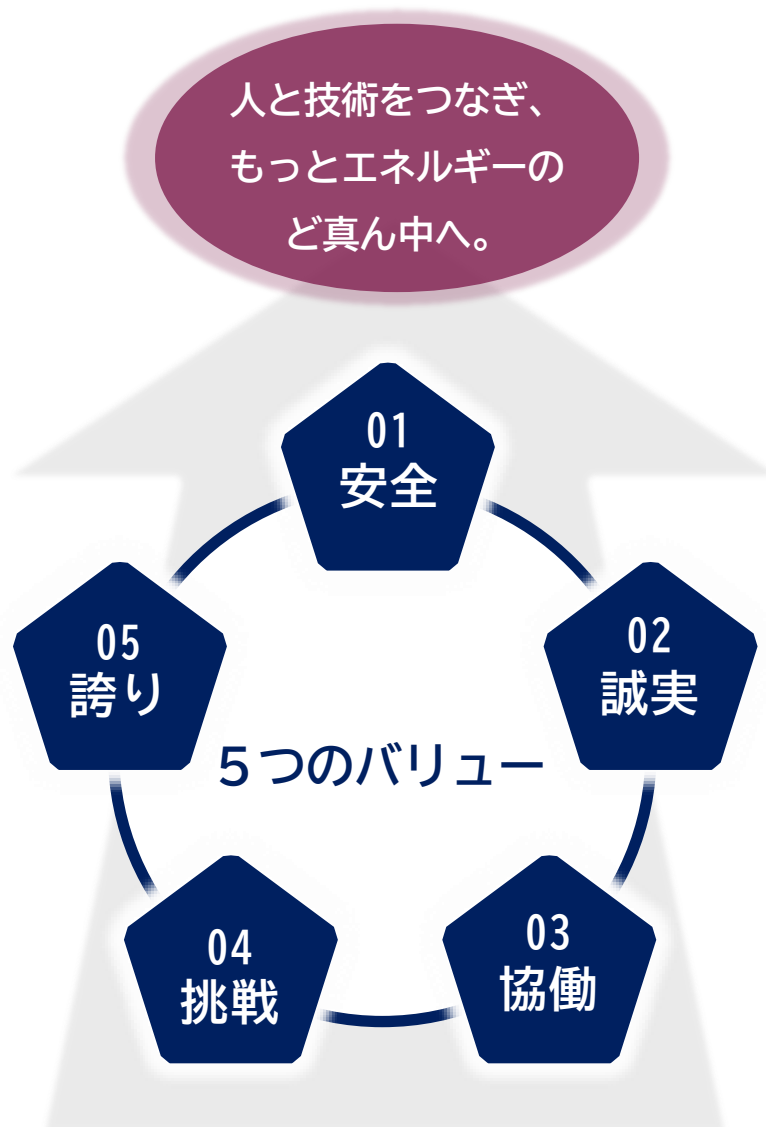
お客さま

誠実な心で、お客さまの期待に応え、
働く仲間とともに成長してきた。
そんな西プラだから届けられるサービスと安心を
これからも追求し、
より多くのお客さまにとって一番の存在であり続ける。

人 財

働くすべての人が、誇りをもって技術を磨き、
一人ひとりの前向きな「やりたい」を実現する。
豊かな人財が育んだ力をつなぎあい、
次世代へ受け継ぐことで、社員とパートナーが、
成長を実感できる、**人が中心の会社**になる。

ビジョンを、日々の行動に落とし込み、実現に向けた力に変えていくために、私たちは、5つのバリューを大切にします。



01 安全を最優先に。

いかなる状況でも自分と仲間の命と健康を守り、安全第一を絶対の約束とする。

02 常に誠実に。

お客さまからもパートナー会社からも、「西プラと一緒になら大丈夫」と言われる仕事をしよう。

03 仲間とともに。

ともに働くすべての人が、信頼と感謝を積み重ね、協働の精神を守り続けよう。

04 心に挑戦の火を。

築き上げた技術を仲間とさらに高め、成長への新たな一歩を踏み出そう。

05 一人ひとりがプロとして。

それぞれの最前線で、プロフェッショナルとしての使命を全うしよう。



西日本プラント工業株式会社